

かけはし

2018
Vol.80
November

世界をまなぼう！
七夕グローバルサマーセミナー
2018.7.25
一宮市役所にて



ダラナホース貯金箱作り
クラフト体験



イタリア文化をまなべる伝言ゲーム



数学者・大道芸人の
ピーター・フランクさん



愛知県立一宮西高等学校
国際理解コースのみなさん



世界をまなぼう！セタグローバルサマーセミナー

市役所本庁舎内の複数の会場を教室に見立て、国際理解講座や交流ゲーム、講演会、クラフト体験等を実施しました。

一宮市役所 7.25

ピーター・フランクルさんによる特別講演 「世界100カ国の面白体験談」

司会の紹介に続いてクラブをジャグリングしながら登場しました。ちょっとハラハラするところが素人っぽくもあるが、すぐに上手な日本語で話し始めました。

「世界100以上の国へ行ったことがあるが正確にはわからない。それは世界の国が分裂したり合併したりでいつも同じではないから。

私はユダヤ人であり、両親の世代は大戦中大変な苦勞をしました。

数学者になったのは、子供のときコンテストで優勝してフランスに留学できたから。数学には必ず答えがあるところが好きだ。」

一番熱心に語ったのは、若い人たちにはもっと海外に出て活躍してほしいということでした。

(荒楠)



西高 小学生英語教室 一宮西高校国際理解コースの生徒と英語で遊ぼう！

今年正式に開設された愛知県立一宮西高等学校国際理解コースの生徒の皆さんが、小学生と保護者に遊びながら英語を学ぶ教室を開きました。

生徒35人が6チームに分かれて、小学生に英語をどうやって教えるか知恵を絞って臨んで来ました。チームごとに、ジェスチャー・クイズ・絵を描いてもらい、ゲーム感覚で英語の単語を答えてもらっていました。

最近では英語に堪能な小学生もおり、高校生も驚く場面がありました。(佐野)



外国人技能実習制度を知るセミナー

JITCO（公益財団法人国際研修協力機構）の小野努さんが、技能実習制度の創設された目的や基本理念から、現在の問題点まで幅広く説明されました。

2016年度、実習生の入国者数は約106,000人で在留年数を長くしたことで年々、増加傾向になっています。都道府県別の実習生の数は愛知県が1位で、約24,000の方が在留されています。

2017年には受け入れする日本側で賃金等不払いなどの不正行為が213件もあり、また実習生の失踪者も7,000人と問題も多くあるようです。

労働力確保ではなく、技術研修による国際貢献に寄与する制度にしてほしいものです。人手不足の社会問題の観点からも興味あるセミナーでした。

(akeharu)



イタリア文化をまなべる伝言ゲーム系のない電話

イタリアの文化を知ることのできる伝言ゲームもありました。二つのチームに分かれて、それぞれの先頭の方は、国際交流員のアレックスサンドラさんが出す問題を正確に覚えて、素早く隣の人に耳打ちして、またお隣に耳打ち、最後の人がアレックスサンドラさんに耳打ちします。

みんなとっても優秀で、勝負がなかなかつきません。でも、問題は、長く難しくなってきました。覚えるのが大変です。

びっくりする問題もありました。イタリアには、生きたミミズが入っているチーズがあるということです。アレックスサンドラさんは食べたことがないそうですが、生きたミミズはチーズと一緒に食べてしまうそうです。動画も見せてくれました。みんな、びっくりです。イタリアの文化も知ることのできる伝言ゲーム、盛り上がりました。

(ゆご)



“ヤー” たのしかった社会見学

名古屋城 8.25

ききょう会館では、毎週土曜日に無料日本語教室「日本語ひろばジュニア」が開催されています。今日はジュニアの社会見学日で、行き先は名古屋城です。子どもたちは教室終了後、昼食にクッキング班ボランティアさん達の手作りサンドイッチをごちそうになりました。

一宮市の生涯学習バス“マナビィ号”で、子どもたちと関係者18名は名古屋城へ向けて出発。車内でしりとりゲームや雑談を楽しんでいると、まもなく名古屋城に到着。

バスを降りて歩きだすと、じりじりと照りつける真夏の太陽で直ぐ汗が噴き出てきます。今年6月に完成したばかりの本丸御殿に入場すると、黄金色に輝く絢爛豪華な襖絵や欄間などがいっぱいであまりの美しさに驚かされました。子どもたちは暑さにちょっと疲れたようでしたが、外に出て冷たい物でのどを潤すとすぐに元気を取り戻し、次の目的へ行動開始です。

子どもたちは、城内で武将隊と記念撮影をしたいと楽しみにしていたのですが、残念ながら会うことが出来ませんでした。偶然途中で忍者集



団と遭遇し、一緒に記念撮影をさせてもらって大喜びでした。

この日はちょうど「にっぽんど真ん中祭り」の最中で、城内の特設ステージではサイパンの人たちによる勇壮な民族舞踊が演じられていました。ダンサーが踊りに合わせて“ヤー”と大きな声で叫ぶと、“ジュニア”の子どもたちも大きな声で“ヤー”と叫びます。ダンサーはこの掛け合いに笑顔で答えてくれました。演舞が終わり、ダンサーからバッグをプレゼントされる思わぬ出来事があり子どもたちは大感激でした。サイパンの人たちとの交流が、夏休みのたのしい1ページとなったことでしょう。(ドリアン)

2泊3日でホームステイ

名古屋大学夏季セミナーホームステイ 8.24～8.26

ウズベキスタン共和国からニルファルがやって来た

タシケント国立法科大学の3年生で、日本へは2度目。1日5回のイスラム教のお祈りはしないが教えを理解し、信じる心が大切と、とても合理的な考えを持つ彼女。「人の役に立ち、良い人となりになる。」と、志高くウズベキスタンの未来に若い力を感じた。

とにかく日本語が堪能で、3年間母国で日本語を勉強したと言っているが、司法から住居に至るまで詳しく話をする。彼女の国は、家族、親戚、地域の人との関係性が強い。広い中庭がある家が多く結婚式や葬式、そして祭りには何百人もの人が集まる習慣があるが、それでも近年人との関わりが希薄になって行く波は、感じ始めているようだ。

ホームステイ2日目、犬山城に行ったら、同じプログラムのベトナムの受け入れ家族と会った。写真を撮ろうとすると、可愛いポーズを取るところは彼女も、23歳の女の子。猿田彦神社でおみくじを引いたら大吉。そっと、財布の中に入



れていたのは日本人と同じ。

家に帰ったら彼女が、材料から全部用意して牛肉煮込みのジャールッコと言う家庭料理を作ってくれた。

着物にとっても興味があり、私の着物を着せてあげたらとても喜んでくれた。

将来日本の大学に留学して、もう一度藤井さんの家に来ますと言って帰って行った。(みかん)

9月29日～30日 イオンモール木曽川 ノースコート

2日間に渡り、一宮の国際交流活動・世界に目を向けてもらうために、民族衣装を着て、民族楽器での音楽を楽しみ、英語を聞いてダンスする。外国のキャラクターと遊び・ふれあい。世界を楽しみました。

世界の民族衣装 試着体験



世界の衣装試着後に、一宮市の友好都市トレビーズの広場の前で記念撮影。

1人で3か国、4か国の試着を楽しむ人も、世界旅行をした気持ちになれたでしょう。

こども英語クラブ ニコ先生とLet's Dance ♪



紙コップで作る ミニピニャータ



紙コップの中にはお菓子が一杯です！
家で遊んでくださいね。

世界をあそぼう！

Friendship F

フレンドシップ

～見て、聞いて、体験して、

ひつじのショー ミニミニバラエティショー



北インド古典音楽

タブラ・シタール



ひつじのショー・ビニペタ工作



Festival 2018

フェスティバル

世界を楽しむ2days! ~

今回のフェスティバルは、大型の台風24号が直撃する予報が出たために、2日目のイベントが残念ながら途中で中止となってしまいました。中学生による一宮市海外派遣団の発表、ハワイのフラダンス、ベリーダンス、中国の二胡演奏と今回見られなく、聞けなかったものは来年に期待したいと思います。（佐野）

クイズでまなぼう! フェアトレード



クイズを通してフェアトレードの認知を高めるために活動中。

南アフリカ伝統音楽 NKOSI AFRICA ライブ



ペルーダンス



南米音楽 TAKISUNミュージックライブ

ペルーの民族音楽



ふわふわ地球号で遊ぼう♪



子供さんたちは、地球儀の中に入り思い切り飛び跳ねて楽しんでました。



Queen's Marry English クイマリちゃんと英語deあそぼう!



プラタピーン(鯉)のお守りづくり

一宮市国際交流員カサンドラさんと一緒に作りました。また学校訪問で会いましょうね。

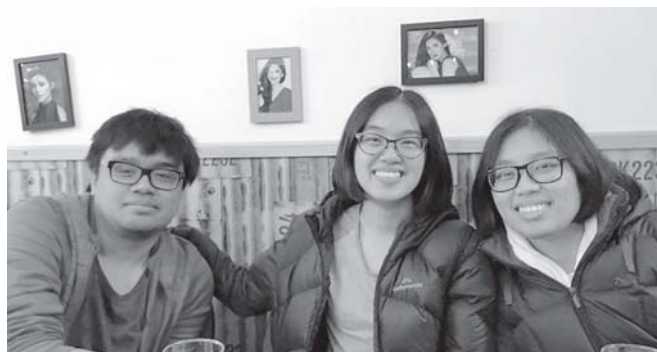


新任国際交流員のあいさつ

私はフィリピンで生まれて、9歳の時から、父の仕事の関係で中東のバーレーンに6年間住んでいました。（ところが、アラビア語は全然話せません。）その後、フィリピンに戻って、高校を卒業してからフィリピン大学で化学を専攻しました。それから、ニュージーランドのオークランドへ引っ越しすることになりました。

子供の時、フィリピンで放送されている日本のアニメをたくさん見たのをきっかけに、日本に興味を持つようになりました。アニメを通して、少しずつ日本語の言葉を覚えられました。しかし、それだけで満足できませんでした。どうしても日本語を勉強したかったので、ニュージーランドの大学に入学して、日本語を専攻しました。そして、大学2年生の時、日本へ留学する機会を掴んで、1年間千葉県にある神田外語大学で必死に日本語を勉強しました。ニュージーランドに帰った後、また日本に戻りたいという気持ちが強かったです。

そして今年、一宮市の国際交流員として働くことになりました。このような機会は簡単に手に入りませんので、大事にしようと思います。できる限りニュージーランドという素晴らしい国について少しでも多くの方々に伝えていきたいと思っています。



写真左から弟、本人、妹

また、日本にいるうちに、温泉に入ることや旅行をすることなどやりたいことがたくさんあります。

私は静かでまじめだとよく言われていますが、遠慮なく声をかけてください。

ロティビオ・カサンドラ（28歳） Lotivio Cassandra

一宮市に来てまだ3ヶ月しか経っていませんが、この街は住みやすく、今まで出会った方々はあたたかいと思います。気軽に“ドラ”と呼んでください。



外国人交通安全教室

尾西自動車学校 10.21



みなさんは交通ルールをきちんと守って生活していますか？国によって交通事情は違います。一宮に住んでいる外国人に、日本の正しい交通ルールを知ってもらうための「外国人交通安全教室」が開かれました。

この教室の特徴は、自動車学校の教習コースで実地訓練が受けられるところ。

一宮警察署交通課の係長から「自転車は左側を走る」「踏切では、自転車から降りて、押して渡る」など基本的なルールを聞き、持ち込んだ自分の自転車で信号のある交差点やクランクを実際に走ってみました。

快晴のコースが気持ちよく、一時停止を忘れて注意される場面もありましたが、楽しく勉強になりました。

教室に移動し、「傘差し運転」「運転中の携帯電話の使用」「二人乗り」など危険な乗り方は法律で禁止されていることを教わりました。取り締まりが強化され、違反行為をすると2万円から5万円の罰金が課せられるという説明に、会場がざわつき、

「イヤホン片耳だけしていてもダメですか？」と質問も出ました。（もちろんダメです）

その後、反射神経をはかる機械に挑戦し、表示された「あなたの俊敏性は〇〇歳」の数字と実年齢との差に思わず苦笑い。また、シミュレーターを使って後方確認の仕方などを学びました。

帰りに自動車学校の門を出るとき、一旦停止をしてしっかり左右確認する姿に、学習成果がもう現れていました。（伏原）



コース一番の難関、そして一番楽しかった一本橋。
「脱輪せず走れた人？」「はい！」



おとなりさん



グアム出身のNicolas Diaz Nick (ニック) さんをオフィスに訪ねました。日本人の奥様と1歳の愛らしい娘さんも一緒に迎えてくれました。

- Q. 日本に来ることになったきっかけを教えてください。
- A. 4年前、仕事でグアムに来た奥さんと出会い、その半年後には初来日。2年前結婚し一宮で生活を始めました。
- Q. グアムではどんな生活をしていたのですか？
- A. とにかく自然が豊かなところですよ。子どもの頃はいつも外で走りまわっていました。兄弟、親戚が多く皆一緒に暮らしています。週末にはビーチでBBQを楽しみます。英語がメインですが、チャモロ語という現地

のことばがあります。ひいおじいちゃん、おじいちゃんは日本語を話します。そのことから日本の文化にも興味を持っていました。

- Q. 一宮での生活はいかがですか？
- A. 山や川が近くにあり家族で出かけ、冬にはスノーボードもします。イヤーエンドには、ツインアーチ138に上り、家族でサンセットを見ました。ベランダで、アボカドやハラペーニョを育てています。グアムの自然とは違うけど、自然を身近に感じて暮らしています。それから、FMいちのみやで番組を持つようになり、最近知り合いが増えてきて嬉しいです。
- Q. 夢はなんですか？
- A. 娘の成長が楽しみです。グアムと日本の両方の文化を伝え、どちらも大切にしていってほしいです。
- Q. 一宮の方へメッセージをお願いします。
- A. 「Come to Guam!」セントレアから3時間で行けます。仕事のことは忘れて、透き通るように美しい海を眺めたり、波の音を聞いたり、砂に足を入れたり、グアム時間を感じてほしいです。
- Q. 通訳をしてくださった奥様からも一言お願いします。
- A. グアムの人たちは、家族がとても仲が良いです。おじいちゃんを家族みんなで十数年も自宅で看護していることに感銘を受けました。当然のようにおばあちゃんに目薬をさしてあげる姿を見て、この人と生きていきたいと思いました。グアムには、日本が以前当たり前に持っていた心が残っています。もちろん子育ても夫婦一緒です。ぜひ、みなさんもグアムを訪ねてください！

(取材 森)

iiia information

イタリア野菜たっぷりモーニング

協会ボランティアグループクッキング班が考案した、イタリア野菜使用のオリジナルモーニングを出品します！

日時：12月8日(土)
午前9時～売り切れ次第終了

会場：i-ビル3階
カフェレストラン イチモ

価格：500円
その他：250食限定での販売となります。



iiia Facebookページ

イベントのお知らせや、外国人のみなさんに役立つ情報を多言語で発信しています。

Multilingual posts about event notices and helpful information for foreign residents.



*協会事業を支える国際交流基金への寄付を募集しています。また、一宮市の国際交流の中心となって活躍いただく親善ボランティアも随時募集しています。詳しくはiiia事務局までお問い合わせください。

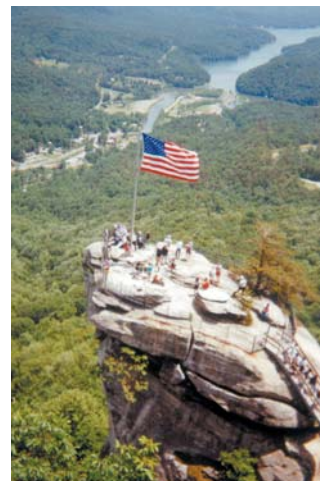
地球あっちこっち

一宮市国際交流協会親善ボランティア
杉山 昭
(荒楠)

25年も前の古い話になりますが、私は1992年4月20日から2年半米国に駐在しました。米国本社がニュージャージー州にあったので私も同州フォートリーの町の高層アパートで生活しました。私の部屋からはハドソン川のすぐ向こうに、マンハッタンの摩天楼と、今はないワールドトレードセンターのツインタワーが良く見えました。

仕事で各地を訪ねてみて米国の広さに驚きました。同じ国の中に3時間の時差があるだけでもすごいことです。ニューヨークからサンフランシスコに朝9時に電話するなら昼まで待たないと誰も電話に出ません。そんな広い米国内の出張は、まず飛行機に乗って、次にレンタカーで目的地に行くこととなります。出張先のホテルの予約も下手な英語で何とかかなり、旅行に関するシステムはよくできていて、初めてでもあまり迷うことはありませんでした。多くの移民から成り立っている米国では、少しの英語ができれば誰にも同じチャンスがあるということが実感できました。

仕事でよく出かけたノースカロライナ州、サウスカロライナ州およびジョージア州は、その昔のプランテーション労働者の子孫と思われる黒人が多く見られ、ボストンなどとは全く違う国に来たように感じました。日本のようにほとんど同じ顔しかない国とは違って、黙っていても思いが通じるなんてあり得ないと思います。ニューヨーク



でも中国や韓国系などのアジア系のみならずイタリア、スペイン、東欧、中東、インドなど旅行者か住民かは別として本当に多様性があります。話されている言葉も英語ばかりではありません。

仕事は知り合った仲間に助けられて少しは成果があったかなと思いますが、私個人としては海外で長期間暮らすことができ、各地へ旅行でき、友人もできたので大変有意義な駐在だったと思っています。

お金を払うだけの旅行者や何かをやってあげるボランティアと違って、売上でお金を稼ぐ立場で外国生活をするのは大変でした。その分今から思うとなかなか経験できないことにも出会いました。英語の会話能力はあったほうが良いとは思いますが、その前に仕事の専門性をしっかり磨いておくべきです。いまの若い人たちは海外に出かけるのを嫌がる傾向があるということも耳にします。積極性と好奇心があれば何とかかなると思いますので、みなさんもぜひ仕事で海外に出かけられるように今から心がけてみてはいかがでしょうか。

編集後記

近年、一宮市内でも外国人をよく見かけるようになりました。それにつれ、国際交流協会の活動も、海外から来たお客さんを歓迎するだけでなく、住んでいる外国人の生活をサポートしようという方向に変わりつつあります。インバウンドとよく言われますが、それより住みやすい街にしていけたらと思うのです。(つちのこ)

発行 一宮市国際交流協会 (〒491-8501 一宮市本町2-5-6 一宮市生涯学習課内)

ご意見・ご感想お待ちしております 【TEL:0586-85-7076 E-mail:kokusai@city.ichinomiya.lg.jp】

当協会に関する情報はウェブサイト・Facebookページもご覧ください

【WEB:<http://www.city.ichinomiya.aichi.jp/iia/> Facebook:<https://www.facebook.com/iia138>】

*この「かけはし」は、協会ボランティアにより取材・編集されています。

みなさんも国際交流協会親善ボランティアに参加しませんか？お気軽にお問い合わせください。